

聖化

1. 信仰によってキリストにつき合わされ

霊的、道徳的状態の変化が起こるとは、何ですか。

聖化です。これは、私たちの品性の道徳的変化であり、霊的な資質の変化です。これは、私たちの本性全体が更新されることです(1テサロニケ 5:23、ロマ 12:2)。理解力は霊的に覚醒され、意思は修正され、情緒は調節されます。従って、生活が外的に改革されます。しかし、この地において完全にされるわけではありません。聖化は聖霊の力によって成し遂げられますが、この地から始まって、主の最後の日に完全にされます(詩 51:10、エゼキエル 36:26)。

2. 義認と聖化は、どのように異なりますか。

義認と聖化は区別されますが、それは分離することはありません。また、義認と聖化は、時間の順序ではありません。信仰によってキリストにつき合わされる時、義認と聖化は同時に来るのです(ロマ 8:30)。ただ、その性質上、義認が聖化の根拠となります(Ⅱコリント 7:1)。従って、その人がまことに義とされているのか、どうかは、目で見ることのできる聖化を通して確認することができます(ヘブル 12:14)。

義認は、キリストにあって義と認められることですが、聖化は、キリストを通して私たちに表れるのです (ロマ 8:10)。義認は、キリストの恩徳から来ますが、聖化はキリストの死と復活の効果から来るのです (エペソ 1:19, 2:5)。義認の道具は信仰ですが、聖化の道具は、信仰と聖霊の御業です (使徒 15:19、ガラテヤ 5:6)。義認はすべての信者に同一ですが、聖化は、その程度が信者によつて異なります (Ⅱコリント 3:18、Ⅱペテロ 3:18)。従つて、義認と聖化との関係で、義認だけあつても救われると主張する道徳律廃棄論が、誤りだということと、まことの救いには、必ず、聖化がなくてはならないことを知ることができます。義認と聖化は、互いに連結されていて、まことに義と認められたなら、程度には差があるといつても、必ず、義認の証拠が聖化として表れるようになるからです。

3. 聖化は、何ですか。

聖化は、神の恵みが内住して、私たちに聖なる生活を生きるようにさせます。聖霊は超自然的な働きとして、信者の霊魂と体が神に立ち返り、神に献身させ、霊魂のすべての力と機能が神の形に回復されることです。すべてのことに神を喜ばせようと決断し、努力することですが、それは、キリストをくださった神に対する愛によることです。聖化は、聖霊の持続的な働きとして、古いアダムの形から、ますますキリストの形と一致していくのです。

4. 聖霊を聖化主と、呼ばれる理由は、なぜですか。

御父の特別な働きは創造であり、御子の働きは贖いであり、御霊の働きは聖化であるからです。父は子に和解の働きを提案し、子はそれを履行されました。そして聖霊は、私たちの中にある、あらゆる敵を取り除きます。キリストは聖

霊を遣わして、聖霊によって、神のみことばと福音の教理を用いて信者の心に聖さを起こし、聖なる生活を追求するようにさせます。

聖霊は、みことばを通して信者の心のうちにあるすべての汚れを洗い、綺麗にされます。罪は靈魂を汚し、神を不愉快にさせるから、聖霊の清くさせる働きが必ず必要です。勿論、聖霊さまがこのようになさるのは、キリストの血潮を適用させてのことです。

また、聖霊は、聖徒のうちに内住して、その賜物と、恵みと、慰めによって、実質的に活動されます。従って聖霊は、聖化の有効な原因となります。それで聖徒たちを、御霊のうちにいと語り、御霊において行くと語るのです。もし、私たちが聖霊によって肉の行いを死なせなかったり、聖霊の導きに従わなかったり、その聖霊がないのなら、その人は信者ではありません (エゼキエル 36:27)。

5. 聖化は何で、構成されていますか。

聖化は、二つの部分に構成されています。まずは、罪を殺す (mortification) ことであり、その次は、主のために生きる (vivification) ことです。罪を殺すというのは、罪に対して死に、それによって、罪の支配から自由になることです。それは、キリストの死によって可能です (ロマ 6:6-7)。また、主のために生きるとは、新しい命の中で、神に対して聖なる生活を追求することです。それは、キリストの復活の力によって可能です (黙 20:6)。

6. 罪を殺すとは、何ですか。

聖霊さまが、信者たちを新生させる時、その心に、内的に靈的原理を植えさせて置きました。それによって信者は、聖霊の力のもとで罪を殺し、古い人を脱ぎ捨て、肉は十字架に釘付けさせるのです。肉の腐敗性を抑制することです (エ

ペソ 4:21-24、コロサイ 3:5、ガラテヤ 5:24、ロマ 6:6)。肉を死なすことは、神が信者に要求することであり、神が憎まれる生活の方式から離れることです(ロマ 12:1)、従って信者は、自分の罪のために苦難を受けられたキリストの死を見上げなければならず(ゼカリヤ 12:10、使徒 2:37)、毎日、自分の罪を見つけ、自分の中に数多くの悪を分別しなければならないのです。

7. 神に対して生きるとは、何ですか。

聖霊さまが私たちが新生させる時、霊的原理を注入させて置くことで、私たちが神に対して生きるようにしてくださいました。従って信者は、毎日霊的習慣、あるいは、恵みの原理に従って生きなければなりません。神に対して正しく、聖なる生活を生きなければならないのです(ロマ 14:8、ガラテヤ 2:19)。聖霊さまは、信者たちのうちに住まわれ、彼らに新しい命にあって行うようにされます。つまり、霊的生活を追求するようにさせます。それで、信者が神に栄光を帰することを、最高の優先順位とするように、また神の国に向かって積極的に出て行くようにさせます。

8. 聖化の手段は、何ですか。

聖化は、聖霊によって成し遂げられます(ヨハネ 7:38)。そうだと行って、信者の責任が免除されるわけではありません。信者は、キリストを続けて見上げなければならず、神のみことばを読み、聞き、黙想しなければなりません。また、礼典を通してキリストの死の恩徳などを記憶し、聖霊さまが自分をますます聖なる者と造ってくださるように、祈らなければなりません(1テサロニケ 5:23)。

9. 聖化がこの地において、完全ですか。

違います。神の人々にある聖化は完全ではありません。信者は、この地で生きているので、この地では腐敗性に染まっていて（イザヤ 64:10）、信者の肉には腐敗性が残っているので完全ではありません（エペソ 4:18）。更に、限りなく信者を罪によって誘惑する悪魔が、吠えたける獅子のように活動しているから、信者はあらゆる罪悪に露出されています。従って聖化の構成要素には、罪と腐敗性を殺すことが含まれています（コロサイ 3:5）。

10. 聖化を義認のように、一度で完全にさせなかった、理由は何ですか。

神は罪のシミがお嫌いです。最も、神の律法は、純粋な性質によってきれいな生き方を要求しています。従って、信者の聖化が不完全なのは、確かに、神さまが苦しみを与えることです。それにも関わらず、神が、聖化の不完全性を許容なさるのは、信者が自分の不完全性を認めながら、絶えず信仰によって実行し、キリストと共にいるようにさせるためです。もし、聖化が完全であるなら、それ以上、彼らにキリストが必要ないでしょうし、キリストが彼らに与えるべきものもないでしょう。

もう一方で、神が、聖化の不完全性を容認なさるのは、信者たちが罪を告白して祈るようにさせるためです。神は信者が、自分の腐敗性を死なせようと恵みを求めることを喜ばれます。また神は、信者たちに、この地において霊的戦争をするように定めておられます（ヨブ 14:14）。それを通して神は、ご自分の民が天を渴望するようにさせます（Ⅱコリント 5:2）。結局、神はこの地において信者の不完全性を容認なさりながら、新しい契約の恵みがどれほど偉大で、大きいのかを示し、神の忍耐が無限であることを証しなさっています（民 14:17-18）。

11. 聖化の証拠は何ですか。

その心がまことに聖なる者となった証拠は、神のみことばを敬虔に受け入れることにあります。なぜなら聖霊は、その心を清くさせ、その心に神のみことばを刻んで置いたからです。つまり、その靈魂に、道徳法を刻んで置き、律法の義務を行うようにされます（ヨハネ 14:22-23）。まことにその心に聖化の恵みがあるのかないのかを、わかる証拠は、自分の腐敗性と、罪に対して、継続して靈的に負担感を持っているのかどうかにあります（ロマ 7:24、Ⅱコリント 11:23）。罪と恵みとの間には、続けられる戦争を認知しているからです。このような靈魂は、罪に対して大胆になれないし、常に靈的注意を心がけます。聖化の証拠は、聖霊さまの働かれる属性によって成長して育っていきます（Ⅱペテロ 3:18、マラキ 3:3）。一方で、まことの聖化は、特に、その靈魂が試みを受ける時に表れるようになります（創 22:10）。

12. 偽善者にある、良い行いとは、何ですか。

偽善者にも、良い行いが出ることもあります。なぜなら偽善者も、時々神の御心を行うからです。しかしそれは部分的であり、その心が更新されていない中で出てきたものとして、実際には善行とは言えません。つまり、偽善者にある、善行のように見えることまでも、完全に自分を愛する心から出て来るからです。従って、偽り善行です。